



逆瀬川 あゆみだより

NO.224 2026.3
社会福祉法人
聖隷福祉事業団
逆瀬川あゆみ保育園
宝塚市逆瀬川 2-2-8
TEL0797-77-0415

梅の花も満開を迎え、暖かさと共に、あっという間に3月になりました。1年が本当にあっという間に過ぎていくとを感じるのは私だけでしょうか。

先日、職員が「〇〇さんが、楽しいことを思いついたようで、一生懸命伝えようとしてくれるんですが、わかってあげられなくて・・・」と呟いたことがありました。子どもは遊びを通して、「こんなことしたらおもしろいかも！」と保育者に伝えてくれることがありますが、大人のように簡潔に話を伝えることが、未熟な年齢の子どもの思いを理解する・・・ということは、本当に難しいなと思います。

でも、場合によっては、子どもの様子をよく見ていたら、こんなことを考えて、そのことをしていたとわかって、びっくりしたり、感動したりということもあります。子どもの行為や行動には、何か理由があるはず！と思えるようになると、「どうして、そうしたのだろう」と心を傾けて、わかろうとする姿勢になれる。わかった、わからなかった・・・という結果が大切なのではなく、この大人の気づきと姿勢が大切なのではないのでしょうか。言葉にならない子どもの思いに気づかされた時、私達大人は、感動するし、時には思いに気づかなかったことに、反省したりすることこそが、大切なのではと思う今日この頃です。

先日、元バレーボール日本代表の大山加奈さんが、ご自身の双子の育児について語っている記事を読みました。少しご紹介します。

～育児において誰かの力を借りることは不可欠ですが、実際は遠慮してしまったり、そもそも頼れる人がいなかったりすることもあります。双子の出産をきっかけに、人に頼れるようになったという内容でした。助け合うことで、お互いの強さやよさを引き出していく。そんなことができれば、世の中は、もっと明るくなると思います。私が育児で苦しい時に救われたもう一つの言葉は、「生きていますだけですごい事！」です。できなかったことに目が向きがちですが、やってあげていることも無数にあるはず。母親が笑顔でいることは、子どものためでもあります。周囲の力を大事に受け取って、いつかまた誰かへ。それが、私の大切にしている「頼る力」です。～

私も子育て中は、毎日が一生懸命で、過ぎ去っている感じでした。親は遠方だったので、日々を手伝ってもらおうという事は難しく、「そばに頼れる人がいたらどんなによかったらう」と思った事もありました。でも、私の場合は、子どもを通しての友人が精神的な支えになり、30数年経った今もお付き合いが続いています。頼るのがあたり前・・・はどうかと思うところはありますが、大人もひとりひとりキャパは違います。自分を知りながら、頼れる人、自分の思いを伝えられる人を作っていくとよいですね。子育て中を振り返る時がきた時、「大変だったけど、楽しかった！」と思える、そんな日もきっとやってくると思います！

今年度も、ご協力をありがとうございました。ひつじ組さんと過ごすのは残り1か月ですが、笑顔で送りだしたいと思います。

辻田 紀子

・3/28(土)は年度末会議です。

来年度の子どもの保育環境や準備、子ども達にとって最善の保育を行うために職員全員で話し合いや研修を行います。子ども達が日々楽しく、幸せに過ごすことができるよう私達もたくさんの学びと共有をしていこうと思います。当日皆さんには家庭保育にご協力いただき、感謝申し上げます。ありがとうございます。

・3/28(土)～31(火)は協力保育日です。

協力保育日、子ども達は次の進級クラスへ現担任とお部屋移動して生活します。

3月の予定

礼拝 2・9・16・23日

おわかれ式総練習 10日(火)

おわかれ式 14日(土)

おわかれ遠足 19日(木)

おわかれパーティー24日(火)

協力保育日

28・30・31日

※28日(土) お弁当日

14日(土) 第24回 おわかれ式

ひつじぐみさん、たくさん遊んでくれてありがとう。いよいよ、巣立ちの時を迎えます。

0歳児から園にいた子ども達、途中入園してきた子ども達。今ではみんなでたくさんのお話を「たのしい!」とわちあったり、面白い遊びを展開していったり・・・みんな素敵に成長しました。当日は職員でしっかりお祝いをして送り出したいと思っています。

24日(火) おわかれパーティー

もうすぐおわかれのひつじぐみとおわかれパーティーをします。みんなで楽しい時間を過ごしたいと思います。給食は、ひつじぐみの大好きなリクエストメニューです。どんなメニューか楽しみです!



お誕生日おめでとう



1名のおともだち

すくすくおおきなあ〜れ!

愛によって歩みなさい



「キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。」

(エフェソの信徒への手紙5:2)

宝塚栄光教会牧師 岩間 洋

「あなたがたも愛によって歩みなさい」という聖句は、あゆみ保育園の礎(いしずえ)の御言葉です。このことばが、どういう御言葉に続いて述べられているかが大切です。「キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように」とあります。キリストは私たちを愛してくださいました。その愛は、ご自分を神への供え物として献げてくださった、つまり十字架で命を捨ててくださったことにはっきりと現われました。今、キリスト教会は、2月18日の水曜日から受難節という期間を過ごします。キリストの十字架の苦しみを深く思う期間です。3月29日の日曜日からの1週間が受難週です。私たちを罪から救うために、罪のないキリストが十字架の苦しみを受けてくださいました。そこに現わされた神の愛を受け取って、私達も神の愛の中を歩いていく者となりましょう。